令和７年度 第２回南砺市立保育園審議会 議事録

Ⅰ． 開催日時　令和８年２月 20 日（木）　午後２時 10 分～午後３時 00 分

Ⅱ． 開催場所　南砺市役所　別館　大ホール

Ⅲ． 出 席 者　（１）委員　　18 名

宮田会長、得能委員、山根委員、野村委員、西委員、嶋委員、
松本委員、南田委員、田中委員、高野委員、畠中委員、戸成委員、
中段委員、北野委員、森井委員、米倉委員、谷委員

（２）事務局　　７名

山田部長、山田課長、石崎係長、
山田主幹、高瀬主幹、藤井副主幹、窪田主任

Ⅳ． 欠 席 者　　３名　木下副会長、野原委員、長田委員

Ⅴ． 傍聴人数　　２名

Ⅵ． 議　　題　１　開会

２　協議事項

（１）「福光南部あおぞら保育園」統合について

（２）「福光南部あおぞら保育園」統合に関する保護者会実施報告

（３）「福光南部あおぞら保育園」の統合に関する答申書（案）

３　閉会のあいさつ

Ⅶ． 会 議 録

（午後２時 10 分　開会）

１　開　　会

令和７年度第２回会議を開催。宮田会長の挨拶により開会。

２　報告事項

事務局より、「福光南部あおぞら保育園」の統合に関する協議事項（１）～（３）について一括報告と説明が行われ、その後質疑応答・審議が行われた。

（１）「福光南部あおぞら保育園」統合について

（２）「福光南部あおぞら保育園」統合に関する保護者会実施報告

（３）「福光南部あおぞら保育園」の統合に関する答申書（案）

【主な質疑応答】

（１）「福光南部あおぞら保育園」統合について

（２）「福光南部あおぞら保育園」統合に関する保護者実施会実施報告について

■ 協議事項（１）「福光南部あおぞら保育園」統合および（２）保護者会実施報告について

・通園先の選択と小学校統合について

（ 委 員 ）

統合後、児童は住居地に関わらず２つの統合先園から選択できるのか。また、小学校は一本化されるのか。

（事務局）

希望する保育園を選択可能。小学校については令和 10 年 4 月に統合し、1 校となることが決定している。

・統合時期について

（ 委 員 ）

小学校の統合時期とずらし、令和 9 年 4 月に統合とする理由および、アンケートで令和 11 年統合を希望した方の意向はどのようなものか。

（事務局）

統合時期については、保護者等への説明会とアンケートを実施し意向を確認した。令和 11 年を希望した方は、小学校統合の影響を受けない点や、3 歳未満児の兄弟がいるケースが主な理由である。しかし、全体としては早期統合（令和 9 年）を望む声が多数を占めた。

（ 委 員 ）

地域説明会では丁寧な説明と意見交換が行われ、アンケートを用いて保護者の意見をしっかり集約したプロセスは高く評価できる。

（議長まとめ）

審議会としても、保護者の意向を最優先に尊重し、令和 9 年 4 月 1 日の統合を妥当とする意見で一致した。

・地域交流について

（ 委 員 ）

統合までの期間、具体的な地域交流としてどのようなものを想定しているか。

（事務局）

最終年度となるため、園児の地域行事への積極的な参加や、地域の方々を園に招待する機会を増やしたい。双方からの働きかけに対し、柔軟に対応していく。

・職員配置とクラス編成について

（ 委 員 ）

統合先での職員配置について、保護者の理解は得られているか。また、少子化の中で地域ごとのクラス編成は可能か。

（事務局）

現在の担任の配置までは確約できないが、統合先には当園の保育士を必ず配置すること、同じ園に進む同クラスの児童は離さないことを保護者に説明し、了承を得ている。なお、児童数減少のため、地域ごとのクラス編成は困難な状況である。また、次年度の年長児についても、児童の進路選択を踏まえて適切に職員配置を検討する。

■ 協議事項（３）「福光南部あおぞら保育園」の統合に関する答申書（案）について

・公共施設再編計画の記載について

（ 委 員 ）

答申書冒頭の「第２次公共施設再編計画に基づく」という文言は必要か。

（事務局）

本審議会が令和３年に提出した保育園施設数に関する提言書に基づく審議であり、本件はその提言内容の１つであるため記載している。

・付帯意見の文言修正（職員配置について）

（ 委 員 ）

付帯意見にある「職員の継続的配置」という表現は、将来的な人事異動等を考慮すると実態に合わず、誤解を招くのではないか。「重点的配置」等に修正すべきである。

（議長まとめ）

期間等の確約と誤解される恐れがあるため、ご意見の通り「重点的配置」に修正することで合意した。

・付帯意見の文言修正（統合後のフォローについて）

（ 委 員 ）

付帯意見の末尾にある「統合にあたっては保護者の不安を解消できるように…」の箇所について、「令和８年度及び統合後」といった表現が分かりにくく、具体性に欠ける。

（事務局）

統合完了で終わりではなく、その後の運営で生じる課題にも継続的に対応していくという市側の姿勢を示す意図で記載した。

（議場まとめ）

統合後も継続的に課題に対応していくという重要なメッセージであるため、保護者へより明確に意図が伝わり、安心感を与えられる表現に修正すべきとの意見で一致した。具体的な文言の修正については、委員の了解を得た上で事務局に一任することとした。

閉会の挨拶

宮田会長と山田総合政策部長より閉会の挨拶が行われた。

（閉会　午後３時００分）　　以　上